

ズクだせ！ 信州

第34回日本高齢者大会 in ながの 9月23日(木・祭日)

ズクって何？
長野県共通の方言で、「やる気」「根気」などを意味します。



北アルプス 穂高岳



右傾化する日本政治

記念講演・講師 中野晃一

※「右傾化する日本政治」(岩波新書、2015年7月22日発行)から抜粋して紹介します。

「リベラル左派連合」再生の条件

このままオルタナティブのないまま、新右派連合の暴走がつづくようになると、右傾化の次なるステージは、対米追随路線で抑えきれないところまで復古主義的な国家主義の情念が噴出するようになることである。内田樹もまた「対米従属を通じて対米自立を果たす」という「のれん分け戦略」が破綻を迎えたとき、「幼稚な反米主義」が噴き出す可能性を指摘する(内田樹・白井聡『日本戦後史論』210-213頁)。

しかし、そのときは日本は完全に国際社会から孤立することになる。

右傾化へのカウンターバランスを築き直すためには、自由主義(リベラル)勢力と革新(左派)勢力がそれぞれに再生を果たし、何らかのかたちで相互連携を行うほかない。しかしこれは容易なことではない。

小選挙区制の廃止

第一の条件は、選挙区制の見直し、すなわち小選挙区制の廃止を中心とした選挙制度改革である。…意図的に死票の多い制度をつくり、政党制の寡占化を「二大政党制」の美名の下に進めようとしたわけで、…有権者と政党政治家の関係を自由主義における売買になぞらえるアナロジーは最初から破綻している。…

新自由主義との訣別

二つ目は、リベラル勢力が新自由主義と訣別することである。企業主義や利己的な欲望や情念の追求を正当化するドグマに堕した新自由主義は、実は自由主義でも何でもないのであり、むしろ新自由主義改革をもたらした政治経済の寡頭支配は、暴力や貧困、格差など、こんにち個人の自由や尊厳を脅かす最大の要因となっている。…

同一性にもとづく団結から

他者性を前提とした連帯へ

かつて革新勢力は、政治、社会、経済の自由化に対応しきれず、ジリ貧となっていくてしまった。また、民主党にしても民主的基盤を欠いたことが、ひとたび壁に打ち当たったとき一気に無残な敗退を余儀なくされた要因であった。個人の自由と尊厳にもとづく社会運動を基盤としてはじめてリベラル左派からのオルタナティブの構築が現実のものとなるだろう。そのためには、第三の条件として、旧来型の同一性(アイデンティティ)に依拠した団結から、相互の他者性を受け入れてなお連帯を求めあうかたちへと、左派運動のあり方、言い換えれば集合文化(エトス)の転換を進めていかななくてはならない。前衛政党や組合幹部からの上意下達的な組織モデルは、教条主義に陥り、独善の袋小路へと至るのみであった。…

新右派転換が時間をかけて壊してきた自由民主主義の諸制度を立て直すとともに、リベラル勢力が新自由主義ドグマと訣別し、左派勢力が自由化・多様化をいっそう進めることによって民衆的基盤を広げたとき、はじめてリベラル左派連合による反転攻勢が成果を挙げることになるだろう。道は険しく、時間は限られているが、負けられない闘いはすでに始まっている。

スクだせ！ 信州

第34回日本高齢者大会 in ながの 9月23日(ホ・秋分の日) 長野市・JA長野県ビル

JA長野県ビル 開場 9:30

県外の方はWEBでご参加下さい。
長野県内の方は(原則)会場へのご参加をお願いします。

9月23日(木)

- 10:00 歓迎セレモニー
- 司会者あいさつ
- 主催者あいさつ
- 歓迎のあいさつ
- 来賓あいさつ
- メッセージ紹介
- 基調報告

そうれっ



長沼こまち太鼓

2019年10月、台風19号で被災した長野市長沼地区の女性を中心とするメンバーが、力強くたたく太鼓です。 乞う御ご待！

高橋淳中央実行委員長

山口光昭長野実行委員長

武市和彦中央実行委員会事務局長

10:50 記念講演

(休憩)

- 大会決議採択
- 次回開催地発表
- 大会旗引継ぎ
- 京都代表あいさつ
- 閉会挨拶
- 連絡

【記念講演】

「コロナ後のめざすべき社会は？
その実現のために必要なことは？」



政治学者、上智大学国際教養学部教授
中野 晃一 氏

12:30 終了

12:30~13:30 昼食休憩

ビデオ上映 信州4Kコンテンツ「綺麗」

13:30~ 学習分科会(5講座)

信州各地の美しい自然や風景等、さまざまな魅力を、4Kの高精細映像で映し出します



NAGANO綺麗

**スク
だ
せ
!**
**信
州**

第34回日本高齢者大会 in ながの

13:30

~

9月23日(水) JA長野県ビル
学習分科会(5講座)

~

16:00

あなたはどの分科会?

第1分科会

第2分科会

第3分科会

第4分科会

第5分科会

**小森陽一
浜 矩子**
スペシャル対談

**自己責任
を斬る**

**満蒙開拓・松代
大本営地下壕の
史実から学ぶ**

**原発事故から
10年、ふくしまの
今と今後**

**新型コロナ
ウィルス感染症と
日本高齢者人権宣言**

1F
アクティ
ー
ホール
【学習タイプ】
対談

12F
A会議室
【学習タイプ】
講座&報告

12F
B会議室
【学習タイプ】
2講座

12F
C会議室
【学習タイプ】
講座&報告

12F
D会議室
【学習タイプ】
報告&講座

分科会	講 師 ・ 助 言 者		内 容	会場定員
1	小森 陽一 浜 矩子	全国「九条の会」事務局長、東京大学名誉教授 同志社大学大学院教授	漱石・百閒から憲法・経済の話まで 2人が大いに語る	70名
2	長友 薫輝	三重短期大学教授	全世代型社会保障政策の根底の考え 方「自己責任論」について、その経緯 と要因、どのように闘うか。	55名
3	寺澤 秀文 北原 高子	満蒙開拓平和記念館長 NPO法人松代平和祈念館理事	「満蒙開拓の史実から学ぶもの」 「『松代大本営』とは何か」	55名
4	伊東 達也	「いわき市民訴訟」原告団長、 原発問題住民運動連絡センター筆頭代表委員	進まない復興と課題、原発汚染水処理 と廃炉問題、私たちに出来ることは?	35名
5	井上 英夫	金沢大学名誉教授・(一社)日本高齢期運動サポート センター理事長、日本高齢者人権宣言起草委員会座長	報告「コロナ禍で学生生活の現状と課 題」。高齢者人権宣言の意義と内容、 宣言採択に向けて。	35名